

麦類の赤かび病について

1 赤かび病菌の産生するかび毒

デオキシニバレノール (DON) やニバレノール (NIV) は、小麦、大麦など麦類の赤かび病の病原菌であるフザリウムが産生するかび毒である。

人に対する急性毒性として下痢、嘔吐等の中毒症状を引き起こすことが知られている。

2 麦類赤かび病による等級格下げ

DON, NIV は加工や調理過程においても完全に除去することは難しいため、生産段階において、その汚染を防止することが重要である。

農産物規格規定で、赤かび病被害粒率が0.0%を超える麦類は規格外となる。

3 赤かび病の防除時期

	1 回目防除	2 回目防除
小麦	開花始期 (出穂から約7日後)	開花始期から7～10 日後
大麦	開花始期 (出穂から約 3 日後)	開花始期から7～10 日後

4 その他詳細

(1) 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

「麦類のかび毒汚染低減のための生産工程管理マニュアル(改訂版)」

(https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/mugi_kabidoku_v2_man.pdf)

(2) 農林水産省ホームページ「食品のかび毒に関する情報：麦の生産に携わる方へ」

(https://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/kabidoku/index.html#mugi)

・[麦類のデオキシニバレノール・ニバレノール汚染低減のための指針\(本文\) \(PDF:185K\)](#)

(https://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/kabidoku/pdf/sisin_0812.pdf)

・[指針活用のための技術情報 \(PDF : 1,597KB\)](#) (平成 28 年 6 月一部改定)

(https://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/kabidoku/pdf/gijutsu_joho.pdf)